

神道政治連盟推薦

参議院議員 比例代表（全国区） 山谷えり子



「神社教育」

平成十八年、六十年ぶりに教育基本法が改正され、三年近くが経過としていきます。

「我が国と郷土を愛する」「豊かな情操と道徳心を培つ」「公共の精神を尊ぶ」という言葉が盛り込まれ、家庭教育、幼児教育、職業教育支援などが具体的に進行しているところです。

麻生内閣下での国会では、ゆとり教育の見直しと教材の充実、神話や民話・偉人伝などの道徳教材の国庫補助制度の創設、子供農山漁村プロジェクト、全国三万二千校すべての公立小学校での放課後子供プランの実現、中学校武道の男女必修化に向けた条件整備、食育推進など、教育再生実現に向けた財政支援体制がとられました。

また九月には、今年で三回目となった全国学力テストの結果が発表され、三年連続上位の秋田、福井の成績が何故いいのかといった分析も盛んになってきています。両県とも二世世代同居の割合が高く

早寝早起き朝ごはんがきちんと励行され、地域の行事やお祭りなどに皆で参加する割合が高いのです。

子曰く、我は生まれながらにして之を知る者に非ず。古いにしえを好み、敏にして以て之を求めたる者なり。

【先生がおっしゃった。私は生まれながらに道を知っていたわけではない。古くから伝えられてきた言葉や行いを行うことについて、道を得た者である。】

（「論語より」）

神話は民族の生まれ育ったふるさとのようなものです。アメリカの教科書には日本の神話が書かれているのに、日本の子どもたちは神話を知る機会が減っています。

ゲーテは「最も民族的なものこそ、最も国際的」と言いました。また、歴史学者トインビーは「十二才ころまでに自国の神話を教えられていない民族は滅びる」と、またリンカーンは「国民は記憶の糸でつながっている」と言っています。

「教育は国家百年の大計にあり」

伝統文化を継承し、正真、親切、勤勉、節度、品位、調和、礼節、親孝行などの美しい価値をきちんと教えることができる環境を着々と整えてきた道半ばで、政局は、半世紀ぶりの変節を迎えました。

しかし、大きなつねりの中にあっても、「先祖さまの心を子供たちが感じ、明き清きまことをもった心を育てる教育再生に、今後も力を尽くしていきたいと思っております。」